

■ 同時発表先 : 広島市政記者クラブ  
広島県政記者クラブ  
合同庁舎記者クラブ  
中国地方建設記者クラブ

## 「太田川・小瀬川流域の気象」刊行 ～太田川改修80年 減災・防災意識の向上に向けて～

今年は太田川において河川改修が始まってから80年になります。これまでの堤防整備やダム建設により災害は着実に減少してきておりますが、その整備は未だ十分とは言えません。

このたび、太田川・小瀬川流域でみられる様々な気象現象の特徴を整理し、太田川・小瀬川における出水と気象の関係を理解してもらうことを目的に「太田川・小瀬川流域の気象」を刊行いたしました。

本冊子は防災教育に役立てて頂くため太田川・小瀬川流域の小中学校に配布することを予定しています。

また、当事務所のホームページ(<http://www.cgr.mlit.go.jp/ootagawa/>)にPDFデータを掲載しておりますので、ぜひご活用ください。



掲載内容(目次)は、別紙のとおり

### <問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局 太田川河川事務所



太田川  
シンボルマーク

副所長(管理・砂防) 湯浅 丈司(ゆあさ じょうじ)  
【担当】  
調査設計第一課長 榎谷 有吾(ますや ゆうご)



小瀬川  
シンボルマーク

082-222-9245(直通)

〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀3-20 電話 082-221-2436(代表)

ホームページURL : <http://www.cgr.mlit.go.jp/ootagawa/>



<目次>

## 第1章

1 太田川・小瀬川流域の気候	1
1.1 太田川・小瀬川流域の気象特性	1
1.2 天気図と大雨の関係	5

## 第2章

2 増水と気象の関係	8
2.1 主要な洪水	8
2.2 太田川・小瀬川の河道特性	10
2.3 洪水の到達時間	12

## 第3章

3 高潮と気象の関係	13
3.1 高潮の発生メカニズム	13
3.2 高潮と気圧の関係	13
3.3 高潮による過去の被害	14

## 第4章

4 過去の主な災害	16
4.1 梅雨による大雨災害	16
事例 1●平成22年7月出水	16
事例 2●平成11年6月出水	21
4.2 台風による大雨災害	25
事例 3●平成17年9月出水(台風17号)	25
事例 4●平成18年9月出水(台風13号と秋雨前線)	32
4.3 高潮による災害	34
事例 5●平成16年9月出水(台風18号)	34

## 第5章

5 河川管理にあたって	37
5.1 河川の水位と危険度	37
5.2 防災情報の提供＝「犠牲者ゼロ」に繋げるために＝	38